

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	生涯学習・スポーツ課	事業No.	269
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		3	“結いの心”に根ざす教育を实践し、豊かな心とりニア時代を生きる力を育む	
	分野別計画			飯田市教育振興基本計画	
法令・例規等					
事業目的		対象	幼児・小中学校児童生徒家庭 地域		
		意図	家族が共に時間を過ごし、相互に成長することで生きる力を育む。		

2 事業内容

3年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・家庭教育の推進を図るため、あいさつ、会話、読書、お手伝いの4つの取組を柱においた「わが家の結いタイム」の啓発活動に取り組みました。 ・啓発チラシの配布、三行詩コンクールの開催を通して、家族のふれあいの大切さを呼びかけました。 ・推進協議会を開催し、幼・保、小中学校、地域それぞれの取組状況を確認し、今後の取組の方向性について協議しました。 ・また、発達段階におけるそれぞれの特徴的な取組の調査を行いました。		三行詩コンクールの実施				80				
			その他の経費				0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	保・小・中学校への意識啓発回数	回	21	21							
3年度決算(千円)	予算額	108	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	80									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	80										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	10	5	1	10	7	108	80	家庭教育推進事業費	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
振り返り課題認識		・家庭教育の大切さは理解されているものの、発達段階に応じてどのような取組を行うか悩んでいる現状があること、家族構成や生活様式が変化していることから、啓発活動については更なる工夫が必要になっています。 ・また、毎年入園、入学する家族に対して、継続して啓発活動を行っていく必要があります。								
上記の課題解決のための有効策		・関係機関における取組から具体的な取り組みやすい事例を抽出し共有していく必要があります。 ・従来の啓発活動に加えて、幼稚園、保育園や学校、地域を通した啓発以外にも子育て世代に結いタイムの取組について呼び掛ける方法として企業への啓発活動が考えられます。								
次年度に向けての取り組み		・各機関の取組から抽出した先進事例から事例集を作成し、関係機関に配布することで具体的な取組につなげます。 ・取組に協力していただける企業を募り、企業のワークライフバランス活動と合わせて「わが家の結いタイム」の取組を呼びかけていただくことで、家族が共に過ごしふれあう時間が増えることを目指します。								